

市政報告

鹿児島市議会議員

永谷 さよこ



いのちとくらしによりそう

2024年 第2回定例会

6月27日の最終本会議において、補正予算12億3801万4千円など15議案を可決、承認し閉会しました。今回の補正予算により令和6年10月より鹿児島銀行への公金振込手数料を支払いや、乳幼児健康診査事業（1か月健診の追加）、がん患者乳房補整具購入費助成事業が始まります。10月より新型コロナウイルスワクチンが、65歳以上の方および60歳以上の内部障害1級相当の方を対象とした定期予防接種にかかります。

◆◆ 永谷さよこが市議会で初めての個人質疑を行いました。 ◆◆

待機児童ゼロについて

永谷：保護者が育休復帰を望むタイミングで、希望する保育所を利用できるしくみを目指し、保育士にとって安心して働き続けられる環境づくり、そして何より子どもたちの安全と最善の利益を守る保育環境を整えることが大切と考える。

保育環境の充実について市長の見解を求めます。



市長：今回のゼロ達成をスタートラインと捉え、待機児童数ゼロを安定的に維持することはもとより、一人でも多くの方々が希望する保育所等を利用でき、また現場の保育士がこどもたち一人ひとりに丁寧に向き合い、子どもの健やかな成長に寄り添うことができる保育環境の整備のため、引き続き、必要な取組を進め、安心して子育てができる社会の実現に向け、全力で取り組んでまいりたいと考える。

市長：健康保険証の廃止については、住民や医療機関等の理解が得られるよう、国においては、引き続き適切に対応していただきたいと考えている。また実施に当たっては、制度の安全性や信頼性の確保に向け、国民に対し、十分な説明や情報提供を行うよう全国市長会等を通じて要望している。



学校給食に有機食品を取り入れる取り組みについて

永谷：本市では生産者に対する助成を少なからず行っているが、国の動向をふまえ、有機食品を取り入れた学校給食に取り組んでいくことを

第1歩としてすすめていくべきと考える。鹿児島市の学校給食に有機食品を取り入れる取組みは？



健康保険証廃止の影響について

永谷：長きにわたり市民の命や健康を守ってきた健康保険証が廃止されることにより、医療現場に混乱を招かないための対策と、今後の見直しを含めたりスクマネジメントが求められている。保険証廃止まで半年を切った現時点での市長の見解を求めます。

教育長：学校給食における有機食品の活用につきましては、本市では、学校給食を小中学校に約5万食提供しており、安定的な供給や適正な価格などに課題もあるが、本市「第3期農林水産業振興プラン」も踏まえながら、今後関係部局と連携し、生産者や関係団体と情報共有を行い、学校給食での活用について研究してまいりたい。

● ヒアリングフレイル予防について

永谷：ヒアリングフレイルとは「聴覚機能の衰え」つまり難聴を意味するとともに、難聴によって周囲の関わり合いが大きく変化し、フレイルに陥ったり、フレイル傾向となることを含みます。聞こえに関する問題は当事者のみならず周囲とのコミュニケーションの問題であり、孤立させない地域づくりの要である。鹿児島市の高齢者の聞こえに関する取組状況と本市における今後の考えは？



健康福祉局：本市における副反応疑いの報告件数は、令和5年度末時点において、252件のうち重篤59件、死亡5件。

永谷：予防接種は感染症を予防するために重要なものだが、重篤59件、死亡5件という数値は重く受け止めるべき。予防接種による健康被害が生じた場合、予防接種法に基づく救済が受けられる。本市の予防接種後健康被害救済制度の状況について申請、認定、否認、未完了の数は？

健康福祉局：高齢者の聞こえに関する取組としては、お達者クラブ等の通いの場で、言語聴覚士による補聴対策をテーマとした健康講話を行っているほか、長寿安心相談センターで、聞こえの相談について対応している。ヒアリングフレイル予防については、引き続き高齢者の聞こえに関する取組を行うとともに、他都市の状況を調査してまいりたい。

健康福祉局：本市への健康被害救済制度の申請件数は、令和5年度末時点において60件うち認定33件、否認11件、未完了16件。



永谷：厚生労働省は新型コロナウイルスワクチンについて、安全性が確立された予防接種であるとは述べていない。実施主体である鹿児島市には市民の健康と命を守る立場から、今後の経緯を十分に注視し、判断を行うべきである。

命とくらしによりそう立場から、
今後みなさまのお声を届けてまいります。

● 新型コロナウイルスワクチン 定期予防接種

永谷：鹿児島市における新型コロナウイルスワクチンの副反応の報告件数と内訳は？

立憲・社民鹿児島市議会議員団

団 長 大森忍（市民文教）
副団長 向江かほり（防災福祉こども）
幹事長 平山タカヒサ（建設消防）
政審会長 和 るりか（市民文教）
会 計 うかりともえ（産業観光企業）

永谷さよこ

総務環境、桜島爆発対策特別委員会所属

ICT推進グループ（議会改革推進ワーキンググループ内）



◆ 今回の議会で、立憲・社民市議団から「教育予算の拡充を求める意見書」を提出し、全会一致で採択。個人質疑は3人の議員（大森、うかり、永谷）が登壇し質疑を行いました。市議会HPでご覧いただけます。

誰もが安心して暮せる鹿児島市を みなさまと一緒につくりたい

みなさまのお困りごとや気になること、分からない事など、どんな小さなことでも、永谷さよこにお聞かせください。ただいま、個人の方、事業所、集会、学習会、お話し会など様々なところで、お声を聞かせていただいております。ご連絡いただければこちらから参ります。

【事務所連絡先】 鹿児島市星ヶ峯1-26-16

携帯：070-9194-1133

メールアドレス：leyona0801@gmail.com



@SAYOKO_NAGATANI

永谷さよこ プロフィール

1977年鹿児島市生まれ 星ヶ峯在住
よいこの家（騎射場）→鴨池幼稚園→宮川
小学校→西谷山小学校→星峯中学校→
鶴丸高校→立命館大学国際関係学部中退
→早稲田大学第二文学部卒業
助産師、看護師、ケアマネジャーを経て、
令和6年4月より 鹿児島市議会議員